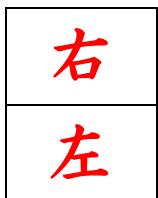


「数について」

### 数の加減

については

数直線上を



へ進むか

へ進むかで考えるとよい。

そして、

出発点を  $0$  と考える。

それゆえ、

$$2+3$$

$$= 0+2+3$$

$$= 5$$

$$2-3$$

$$= 0+2-3$$

$$= -1$$

と考える。

上と同じように考えて  
与えられた式の形を変えなさい。

$$\begin{aligned} & -\boxed{2} + \boxed{3} \\ = & \boxed{0} - \boxed{2} + \boxed{3} \\ = & \boxed{1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -2-3 \\ = & \boxed{0} - \boxed{2} - \boxed{3} \\ = & \boxed{-5} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -3+2 \\ = & \boxed{0} - \boxed{3} + \boxed{2} \\ = & \boxed{-1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -3-2 \\ = & \boxed{0} - \boxed{3} - \boxed{2} \\ = & \boxed{-5} \end{aligned}$$

**例** にならって計算しなさい。

考え方：

先ず、

答えが **プラス** かになるか

**マイナス** かになるかを判定し、

次に、

2つの数の **和** であるかであるか

**差** であるかを判定する方法で答えなさい。

尋ねているのは解ではない。

途中の式である。

$$-3 + 2$$

$$\begin{array}{r} 0 \ -3 \ +2 \\ \hline -1 \end{array}$$

$$-3 + 5$$

$$\begin{array}{r} 0 \ -3 \ +5 \\ \hline 2 \end{array}$$

**例**  $3 - 2$

$$\begin{array}{r} +(3-2) \\ \hline 1 \end{array}$$

$$-3 - 2$$

$$\begin{array}{r} 0 \ -3 \ -2 \\ \hline -5 \end{array}$$

$$3 - 5$$

$$\begin{array}{r} 0 \ +3 \ -5 \\ \hline -2 \end{array}$$

$$-3 - 5$$

$$\begin{array}{r} 0 \ -3 \ -5 \\ \hline -8 \end{array}$$

$$2 - 3$$

$$\begin{array}{r} 0 \ +2 \ -3 \\ \hline -1 \end{array}$$

次の計算をしなさい。

先ず、:( ) を外した式にしなさい。

$$(-2) + (-3)$$

$$= \boxed{-2 - 3}$$

$$= \boxed{-5}$$

$$(-2) - (-5)$$

$$= \boxed{-2 + 5}$$

$$= \boxed{3}$$

$$(-3) + (-2)$$

$$= \boxed{-3 - 2}$$

$$= \boxed{-5}$$

$$(-5) - (-2)$$

$$= \boxed{-5 + 2}$$

$$= \boxed{-3}$$

$$(+2) + (-3)$$

$$= \boxed{2 - 3}$$

$$= \boxed{-1}$$

$$(+2) - (-5)$$

$$= \boxed{2 + 5}$$

$$= \boxed{7}$$

$$(+2) - (+3)$$

$$= \boxed{2 - 3}$$

$$= \boxed{-1}$$

次の計算をしなさい。

先ず、:( ) を外した式にしなさい。

$$(-0.2) + (-0.3)$$

$$= \boxed{-0.2 - 0.3}$$

$$= \boxed{-0.5}$$

$$(-0.3) + (-0.2)$$

$$= \boxed{-0.3 - 0.2}$$

$$= \boxed{-0.5}$$

$$(+0.2) + (-0.3)$$

$$= \boxed{0.2 - 0.3}$$

$$= \boxed{-0.1}$$

$$(+0.2) - (+0.3)$$

$$= \boxed{0.2 - 0.3}$$

$$= \boxed{-0.1}$$

$$(-0.2) - (-0.5)$$

$$= \boxed{-0.2 + 0.5}$$

$$= \boxed{+0.3}$$

$$(-0.5) - (-0.2)$$

$$= \boxed{-0.5 + 0.2}$$

$$= \boxed{-0.3}$$

$$(+0.2) - (-0.5)$$

$$= \boxed{0.2 + 0.5}$$

$$= \boxed{0.7}$$

1、2、3、………、n、n+1

のような数を

ア

**自然数**

と言います。

小学校では

ア

**自然数**

と **イ** **0** と

を合わせて

ウ

**整数**

と言います。

中学校では

ア

**自然数**

に

マイナスの符号を付けた数を

エ

**負の整数**

と言います。

また、

ア

**自然数**

と **イ** **0** と

と

エ

**負の整数**

を合わせて、

単に

ウ

**整数**

と呼びます。

また

ア

**自然数**

のことを

オ

**正の整数**

とも言います。

0より大きい数を

カ

**正の数**

と言います。

0より小さい数を

キ

**負の数**

と言います。

0は

カ

**正の数**

にも

キ

**負の数**

にも含めません。

0には

ク

**符号**

を付けません。

直線に数を目盛ったものを

ケ

**数直線**

と呼びます。

数の約束として、

ケ

**数直線**

の右にある数を

左にある数より

コ

**大きい**

と言います。

それゆえ、

[-1000]より[-1]の方が

コ

**大きい**

と言います。

積の+/-を先ず決めよ。

$$= \boxed{+ (2 \times 3)} = \boxed{6}$$

$$= \boxed{-(3 \times 4)} = \boxed{-12}$$

$$= \boxed{-(3 \times 0)} = \boxed{0}$$

$$= \boxed{+(12 \times 2)} = \boxed{24}$$

$$= \boxed{-(6 \div 2)} = \boxed{-3}$$

$$\begin{aligned} & 0 \div (-2) \\ & = \boxed{0 \div 2} = \boxed{0} \\ & (-2)^3 \\ & = \boxed{-(2^3)} = \boxed{-8} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & (-3)^2 \\ & = \boxed{+(3^2)} = \boxed{9} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -2^3 \\ & = \boxed{-(2^3)} = \boxed{-8} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \frac{1}{2} - \frac{1}{3} \\ & = \frac{3}{6} - \frac{2}{6} = \boxed{\frac{1}{6}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \frac{1}{3} - \frac{1}{2} \\ & -2 \div 0.5 = \boxed{-0.1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \\ & = -\frac{3}{6} - \frac{2}{6} = \boxed{-\frac{5}{6}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -\frac{1}{3} - \frac{1}{2} \\ & = -\frac{2}{6} - \frac{3}{6} = \boxed{-\frac{5}{6}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -\frac{1}{4} + \frac{1}{3} \\ & = -\frac{3}{12} + \frac{4}{12} = \boxed{\frac{1}{12}} \end{aligned}$$

$$0.1 \times 0.1 = \boxed{0.01}$$

$$(-0.1)^2 = \boxed{0.01}$$

$$(-\frac{1}{2})^2 = \boxed{\frac{1}{4}}$$

$$(-0.1)^3 = \boxed{-0.001}$$

$$(-\frac{1}{2})^3 = \boxed{-\frac{1}{8}}$$

$$-0.3 \times 0.7 = \boxed{-0.21}$$

$$(-\frac{1}{3})^2 = \boxed{\frac{1}{9}}$$

$$-0.2 \times 0.5 = \boxed{-0.1}$$

$$(-\frac{1}{2})^2 + (-\frac{1}{2})^3$$

$$-0.01 \times 0.1 = \boxed{-0.001}$$

$$= \frac{1}{4} - \frac{1}{8} = \boxed{\frac{1}{8}}$$

$$(-0.01)^2 = \boxed{0.0001}$$

$$(-\frac{1}{2})^2 - (-\frac{1}{2})^3$$

$$-2 \div 5 = \boxed{-0.4}$$

$$= \frac{1}{4} + \frac{1}{8} = \boxed{\frac{3}{8}}$$

$$-2 \div 0.5 = \boxed{-5}$$

$$(-\frac{1}{3})^2 + (-\frac{1}{2})^3$$

$$-0.2 \div 0.5 = \boxed{-0.4}$$

$$= \frac{1}{9} - \frac{1}{8} = \boxed{\frac{3}{8}}$$

次の文を  
負の数を使わないので表しなさい。

ある地点を基準にして

東へ 3km 進むことを

-10 円の利益

+ 3 km 進む

10 円の損失

と表すことになると、

西へ 3km 進むことを

-10m 西

- 3 km 進む

10 m 東

と表せます。

それゆえ、

- 5km 進むは、

-10 kg 増加

西へ 5 km 進むこと

10 kg 減少

を意味します。

富士山の高さを

+3776m と表すと

日本海溝の深さ 9780m は

- 9780m と表せます

-10m 上

それゆえ、 -4m は

深さ 4m を意味します。

10m 下

水位が

-10m 上がった

5 分後 を + 5 分 で表せば

水位が 10m 下がった

- 5 分 は 5 分 前

を表します。